

特集

紙にとことん詳しくなる！

「紙の選び方、使い方」

印刷物をつくるとき、必ず必要なのが「紙」。見た目がきれいな紙、質感のいい紙、日本には本当にたくさんの紙が存在しています。でもそれをどうしたらうまく選べるのでしょうか。選んだ紙をどうやったらうまく使いこなせるのでしょうか。それにはまず、「どんな紙があるのか」ということを知り、その特徴を捉えることが重要です。本特集では、そんな「紙をもっとうまく選びたい、使いたい!」という思いに応えられるよう、「見た目で選ぶ」「機能や適性で選ぶ」という切り口からさまざまな紙をご紹介します。加えて、「ないのなら つくってしまえ ほしい紙!」ということで、オリジナルで紙を抄いてもらう「特抄紙」のことも掲載。どの記事で紹介している紙も、出来る限り実物サンプルを綴じ込み、写真ではわからない紙の色や質感、手触り、匂いまでを実体験できる特集になっています。

紙の原料がそのまま表紙に! 紙のスピนม! パルプシートに箔押し of 表紙

紙の特集にちなんで、今回は紙の原料をそのまま表紙にしてみました。木材から繊維を取り出してシート状にしたパルプシートを用いています。水に溶かして漉けば紙が作れる表紙です。パルプシートには広葉樹と針葉樹の2種類がありますが、今回は加工適性の問題から針葉樹のパルプシートを使用。その理由や、この表紙を実現するための舞台裏は、記事「本誌表紙はこうしてつくられた。」をご覧ください。



紙の新製品や、デザイナー・編集部がおすすめの紙など いろいろな紙を一挙紹介 & 実物綴じ込み多数!

たとえば、ヨーロッパ生まれの鮮やかなカラーバリエーションとしっとりなめらかな手触りの新しい紙「キュリアススキン」18種類を綴じ込み。あるいは、つるつるピカピカなのに色ムラのある新しいキャストコート紙「クラフトキャスト」全11色を綴じ込み。そのほかにも、2014~15年の新製品や、デザイナー・編集部おすすめの注目の紙を、記事で取り上げるとともに、出来る限り多くの実物見本を綴じ込みました。本文用紙からファンシーペーパー、板紙まで、さまざまな紙の実物に触れることができます。

